令和７年度　文教厚生常任委員会視察研修報告

日　　程　令和７年７月３０日（水）～３１日（木）
視察先・視察項目　①三重県紀北町（※当日、カムチャツカ半島地震による津波警報発令の影響により中止）
・ちょい減らし＋10 チャレンジ事業について
・高齢者向けｅスポーツ教室について
②斎宮歴史博物館（三重県明和町）
・斎宮の歴史と斎宮跡保存活用の歩み
出 席 者　文教厚生常任委員会委員／佐曽利議員、井戸議員、山田議員、森議員
帯同／亀山教育課長、小林福祉保健課長、天池議会事務局長

報 告 者　佐曽利　敏　文教厚生常任委員長

文教厚生常任委員会は、三重県紀北町と斎宮歴史博物館を視察先として計画しました。紀北町は、介護予防給付費の増大を抑えるために一般介護予防事業を先進的に取り組まれているとのことで計画しましたが、当日、現地に入る直前にカムチャツカ半島付近で発生した地震による津波警報発令の影響で急遽中止となりました。そのため、計画を変更して翌日予定していた斎宮歴史博物館への視察を実施しました。

本町では、夕田墳墓群（３基の古墳）については、夕田茶臼山古墳と蓮野１号墳が令和４年１１月に国史跡に指定され、杉洞１号墳が現在、国史跡の指定を目指しています。令和８年度には、いよいよ夕田墳墓群の歴史的意義、価値を町内外へ紹介、PR していくため、保存活用計画に基づいて保存と活用を図っていくこととしていますが、その参考として勉強するため説明を聞きました。斎宮とは、天皇家の皇女が伊勢に赴く際、居を構え、そこから伊勢神宮の行事に参加していた宮殿であり、その居としていた場所から出土した様々なものが現在の歴史博物館に所蔵・展示されていました。館内は規模も大きく広く、県管理下のもと保全がなされていました。

今後、本町の夕田墳墓群の価値をどのように発信していくかについては、今回の視察先のようにスライド、模型、年表、出土品などをいろい

ろ組み合わせて効果的な手法を検討していく必要性を切に感じました。町教育課とともに協議していきたいと思います。